

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

第九回

1、字句「不以年老甚」

2、形式「半紙タテ使用。右に「不以年」左に「老甚」と臨書し、左余白に落款

「○○臨」と書き入れる。

3、概観「十七帖」も今月で最後とします。「十七帖」を最初から観察してみようと、構成には効果的な草書学習を狙った工夫があるように見えます。冒頭の「郗司馬帖」は一ヶ所の連綿もなく、全て単体で書かれています。しかし、三分の一を過ぎたあたりから連綿も多くなり、行の流れにも動きがでてきます。そして、終わりの三帖は、まるで狂草を思わせるものに変化しています。このことは、テキストとして構成した編集者の意図を感じることが出来ます。私は、草書学習としては、「十七帖」が最良の古典だと考えています。今回で最後となりますが、皆さんが続けて学習されることを期待します。

4、各字のポイント

不 線のない四点による構成。バランスよく安定している。

以 一画目は前字を受けているように右から入筆し右下へ。矢印は意連。○部広く余白を取る。

年 一画目はどこからか定かではないが、縦画は右下へ書き、後ハネ。矢印は意連綿。横画三本は微妙に方向を変える。「老」に連綿するが、今回は行変えするので省く。

老 二画目から大きくハネ上げて三画目に。△で筆を返す。「甚」に曲線で連綿。

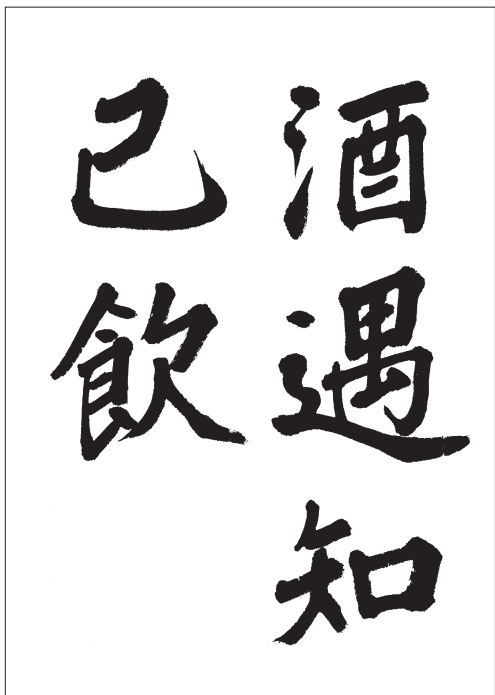
甚 収画以外は直線で。



十七帖・王羲之

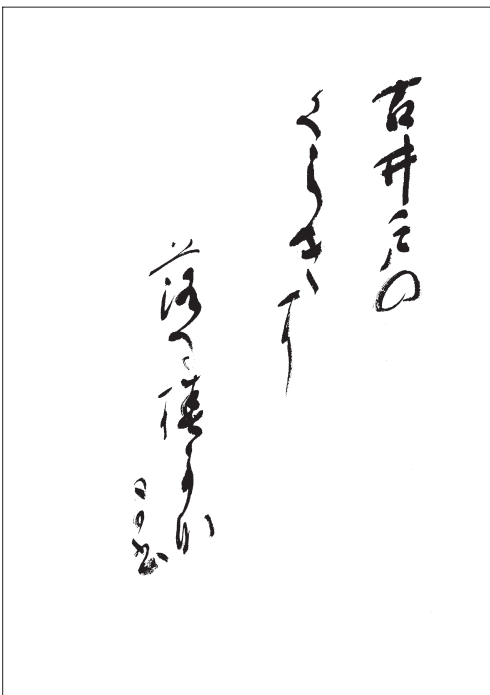
半紙課題(予告) (二月二十二日締切)

平岡華雪先生書 酒は知己に遇って飲む(中峯広録)



訳：知音(自分を知ってくれる人)にあらざれば語らずの意。

平岡華雪先生書 古井戸のくらしに落る椿かな(蕪村)





（天来書院）

常念之。今爲殿中將軍。前過云。與足下中表。常に之を念う。今、殿中將軍爲り。前に過りて云う、足下と中表たりと。

（現代語訳）（虞安吉という人とは、昔、一緒に仕事をした間柄で）彼のことは常々気にかかっていました。今は殿中將軍（皇帝を護衛する武官）になっています。以前、私の所においてになった時、あなたとはいとこ同志とお聞きしました。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「臨」と表示されます。

一字書（二月二十二日締切）

課題

孫

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に一字と記入 段級は無記入

＝ 研究部 課題 ＝

（1月22日締切）

（課題）

前略
 展覧会出品作の写真拝見しました。いつも乍ら貴兄の意欲的な試みには驚かされます。今後どのような方向にゆくのかと考えると、ワクワクします。できれば直に鑑賞したいのですが遠方にいるとコロナ禍の状況ではやはり難しいです。ますますの活躍期待しています。

草々

十二月五日

清原実門

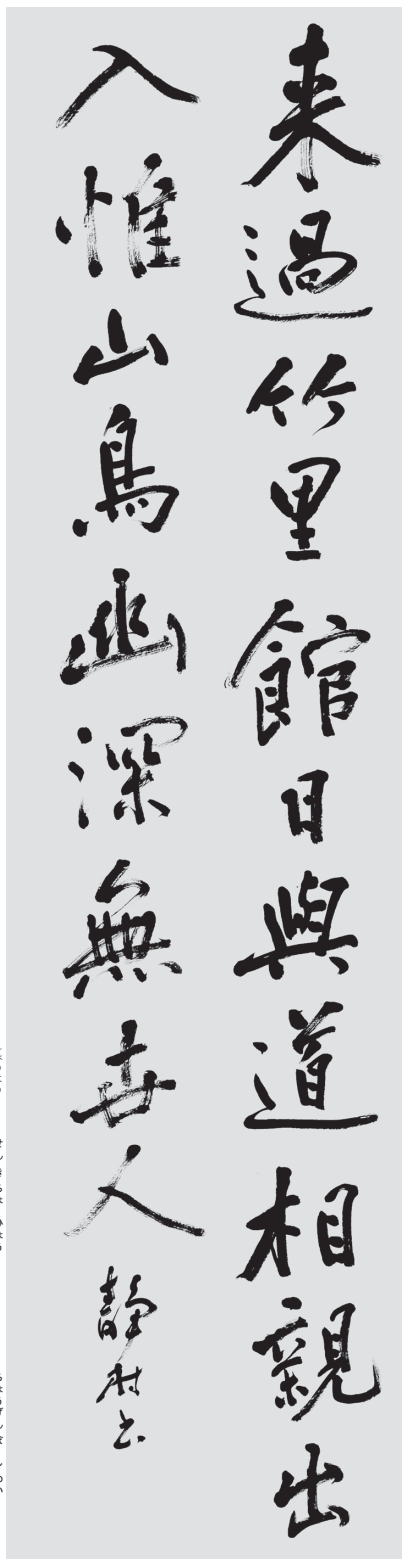
清水遊人兄

▽注意

- (1) 半紙タテ使用。
 - (2) 行数、字詰め自由。
 - (3) 漢字、かな遣いは課題通り。
 - (4) 誤字、脱字の点検。
- ▽出品要項
- (1) 資格―推薦、準推薦、推薦格合格者（漢字・随意・かなのいずれかで推薦格以上であればよい。また同人、準同人も歓迎）
 - (2) 締切―一月二十二日必着
 - (3) 成績発表―書誌三月号誌上
 - (4) 出品料―九四〇円同封

A
鈴木静村先生書

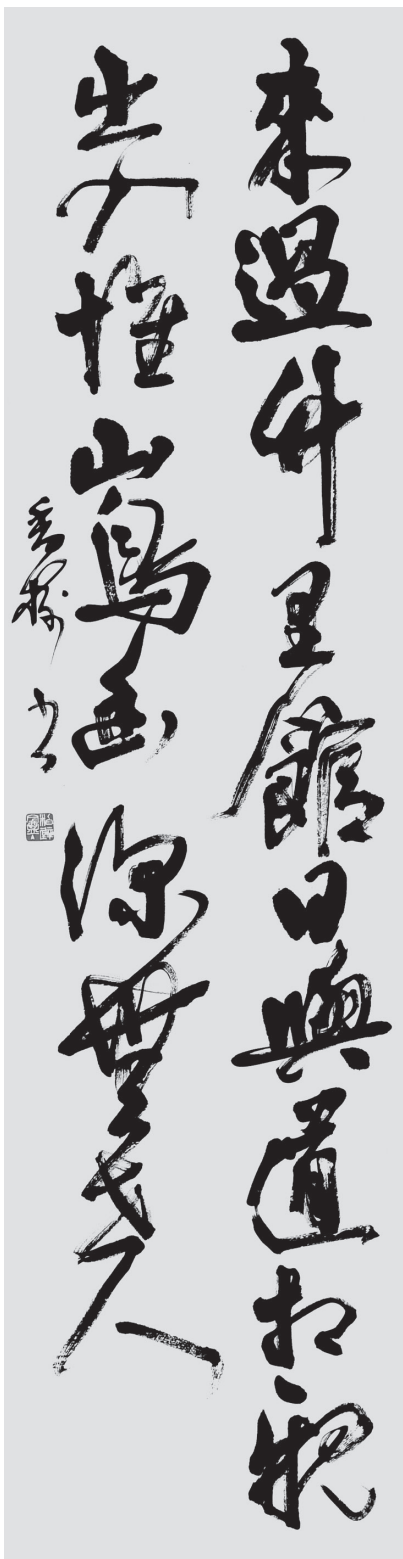
來過竹里館 日與道相親 出入惟山鳥 幽深無世人 (裴迪)
來過竹里館を過い、日々に道と相親しめり。出入するは惟だ山鳥のみ、幽深にして世人無し。



B

高橋香樹會長書

基本に立ち返った《楷書》(行意を含めた)二行書き。このような表出の基調は、楷書古典の鐘繇の「薦季直表」、北魏の「張玄墓誌銘」によるもの。筆をまっすぐに立てて持ち(直筆)鋒先を喰い込ませながら「直筆藏鋒」で書かれています。初歩段階の人には、ぜひ勧めたい楷書。墨継ぎは筆の性能、画仙の紙質、さらに墨の度合いによって表出が異なる。要は左右の墨継ぎが並立しないこと。各自工夫を。



今回は二十字の課題。一行目十一字、二行目九字の構成を考えたが、思うようにいかず一行目十字とした。行草の割合も十字ずつとし、一行目は単体での構成。二行目は「出入・鳥幽・深無世人」と連綿線を多用。墨継ぎは、小さい文字で「日」と「山」。

訳：たかむらのいえに来て、日々みちに親しむに、訪うはただ山の鳥、深くして人ぞなき。

予告 (二月二十二日締切)

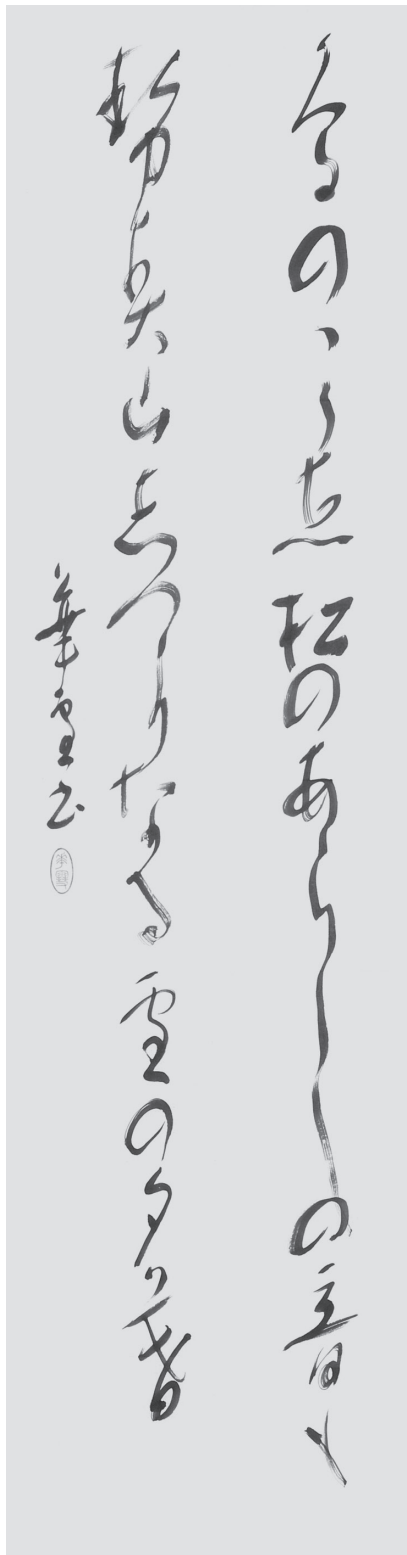
肯與隣翁相對飯 隔籬呼取盡餘林 (杜子美)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

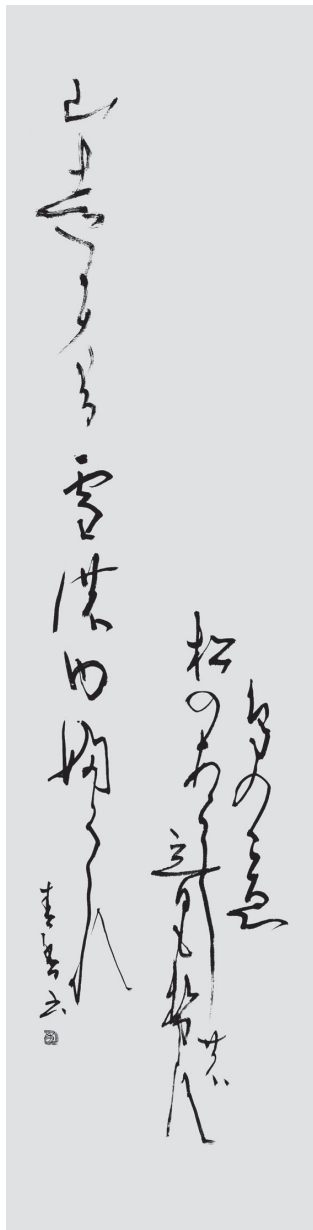
鳥のこゑ松の嵐の音もせず山しづかなる雪の夕ぐれ(風雅和歌集 永福門院)
鳥のこゑ松のあらしの音も勢春山志つ可なる雪の夕暮



B

石原春香先生書

鳥のこゑ松のあらし農音も勢須山志つ可奈る雪濃ゆ婦久れ



学び方

歌意：鳥の声、松を吹く嵐の音もしない。雪が降りだして、降り積もると物音が一切消されたような静けさがやってくる。
初め五・七・五を下方にかため、七・七は静けさを、字間を考えて一行に表現してみました。
先生のお手本を参考に、散らし方や変体がなの使い方を工夫し、各自で歌意をどう表現するか創作を試みることもお勧めします。

予告 (二月二十二日締切)

山ふかみなをかげさむし春の月空かきくもり雪はふりつゝ (新古今和歌集)

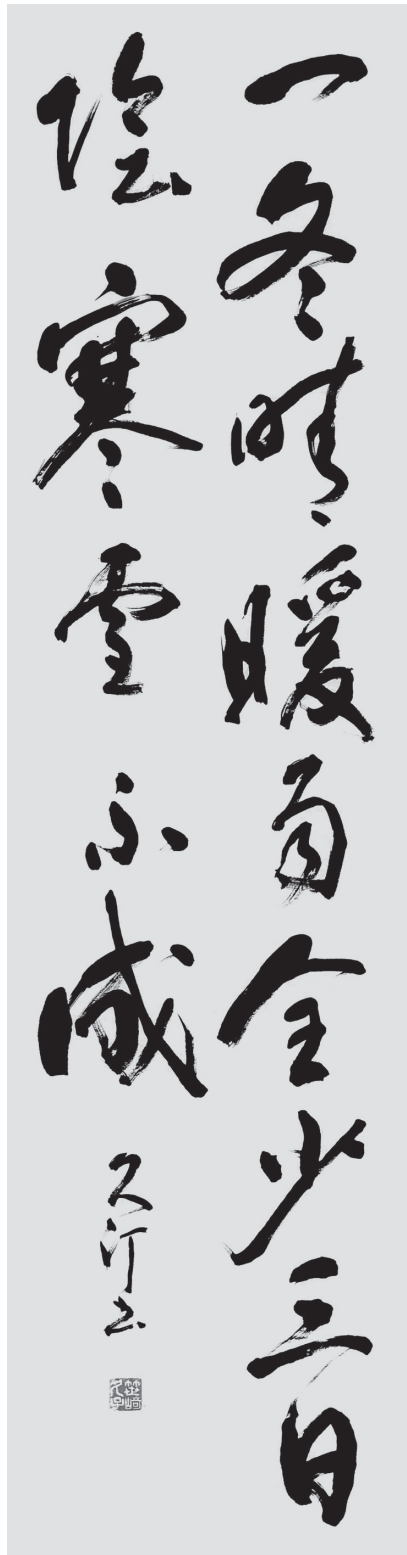
越前)

永福門院 (一二七二〜一三四二)
太政大臣西園寺実兼の長女。京極為兼の革新的な歌風を学んだ。歌合などに活躍。「花の上にしばしうつるふ夕づく日入るともなしにかけ消えにけり」など美しい自然詠に優れ恋歌にも秀歌がある。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

笹崎久汀先生書

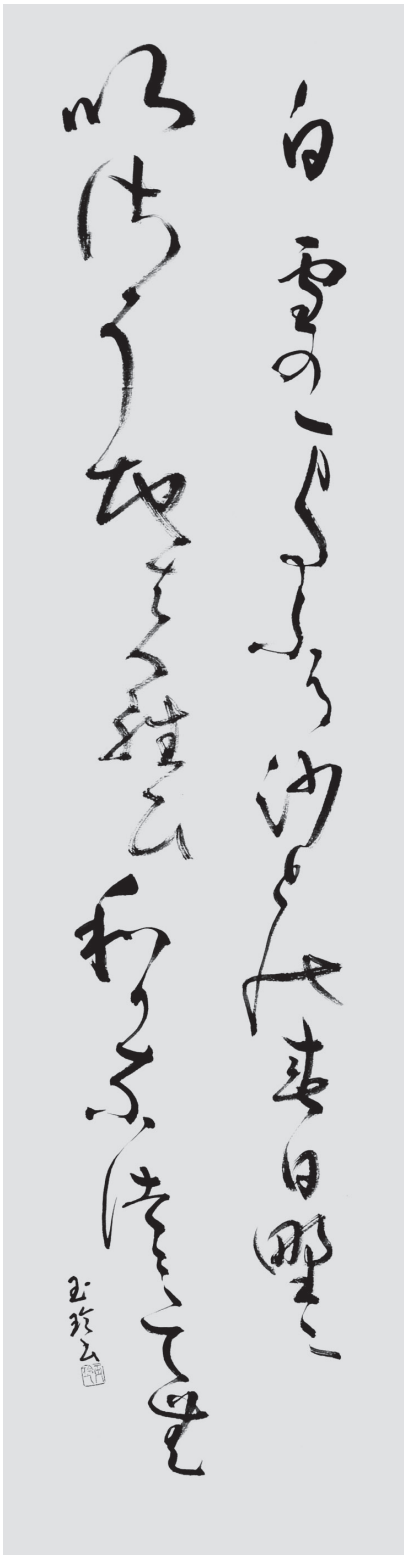
一冬晴暖雨全少 三日陰寒雪不成（楊公遠）
 一冬の晴暖雨全く少なく、三日の陰寒雪成らず。



訳：冬中は晴天多く雨は全く少ないが、たまたま三日陰りつづけて雪が降りそうである。

大和田玉玲先生書

白雪のまだふるさとの春日野にいざうちはらひ若菜つみてむ（大中臣能宣）
 白雪の万多ふるさと能春日野二以佐う地者羅ひ和可奈徒三て無



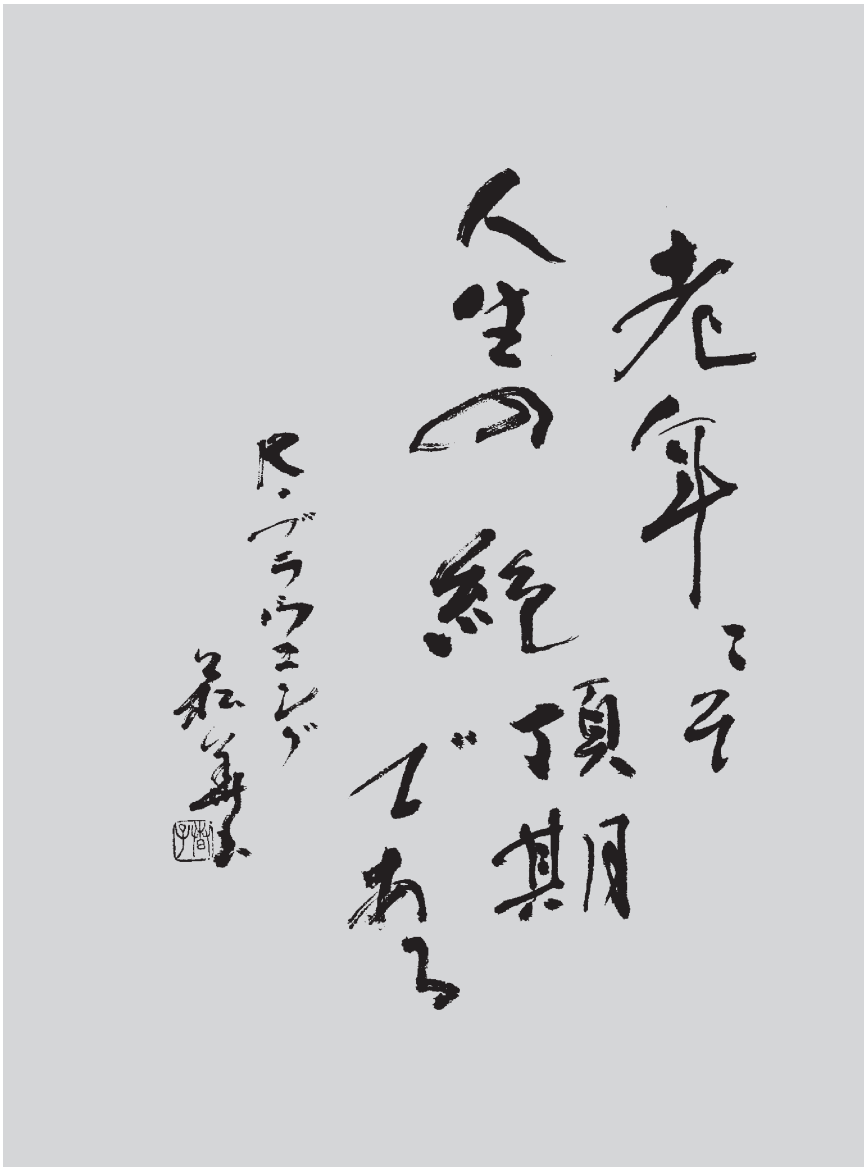
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

小暮 崧華 先生 書

老年こそ人生の絶頂期である
(ロバート・ブラウニング)

短い意味合いの深いことばです。

- 「老年こそ」は堂々と。
- 二行目「絶頂期」も大らかに主張し、
- 「である」は二行目に添うように書きました。



ロバート・ブラウニング(一八一二〜一八八九)
イギリス、ヴィクトリア朝の詩人。ロンドンの裕福な家に生まれる。妻は、詩人のエリザベス・バレット・ブラウニング。当時の上流家庭の習慣から正規の学校教育を受ける機会は僅か。敬虔なクリスチャン。六十歳を過ぎなければ人生の豊かさ、うまささはわかるものではない、という思想に立っており、老年になって素晴らしい作品を次々に生み出した。作品、『春の朝』『ピッパが通る』等。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新

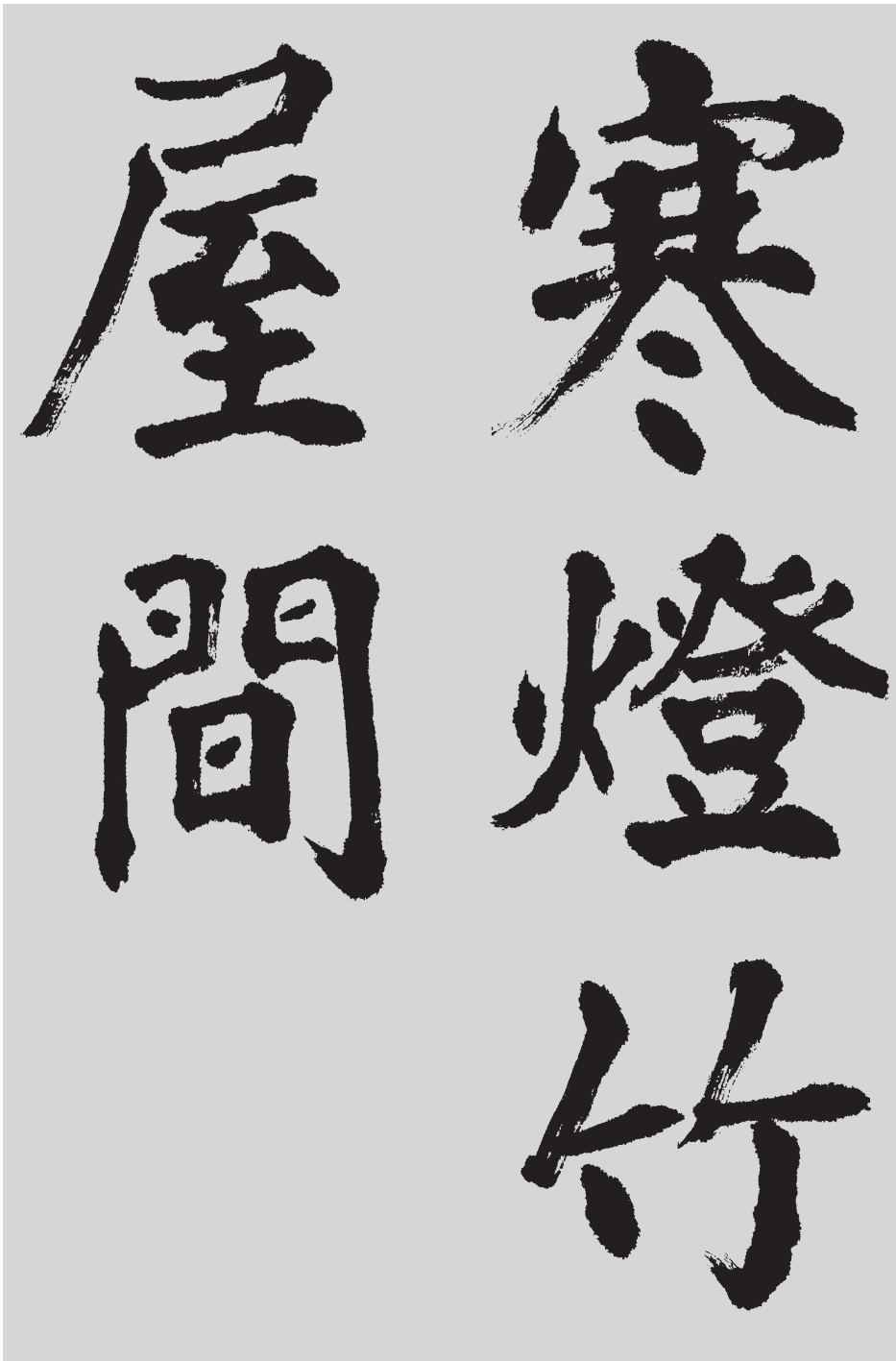
平岡華雪先生書

寒燈竹屋の間。(賈島)

訳：竹林の中の家から冬の夜の燈火がもれている。

〈弾き返す用筆・左払いについて〉

どんなに短画でも、また細線でも、筆先の利きが根本。鋒先を利かせて、返す用筆であれば線に活きが出される。弾きのない線は、きれいであっても弱々しく死線に等しい。「左払い」の用筆では特に、末筆に留意。鋒先の力をゆるめないで、次画へ向け、つづける気持ちで「払う」ことです。

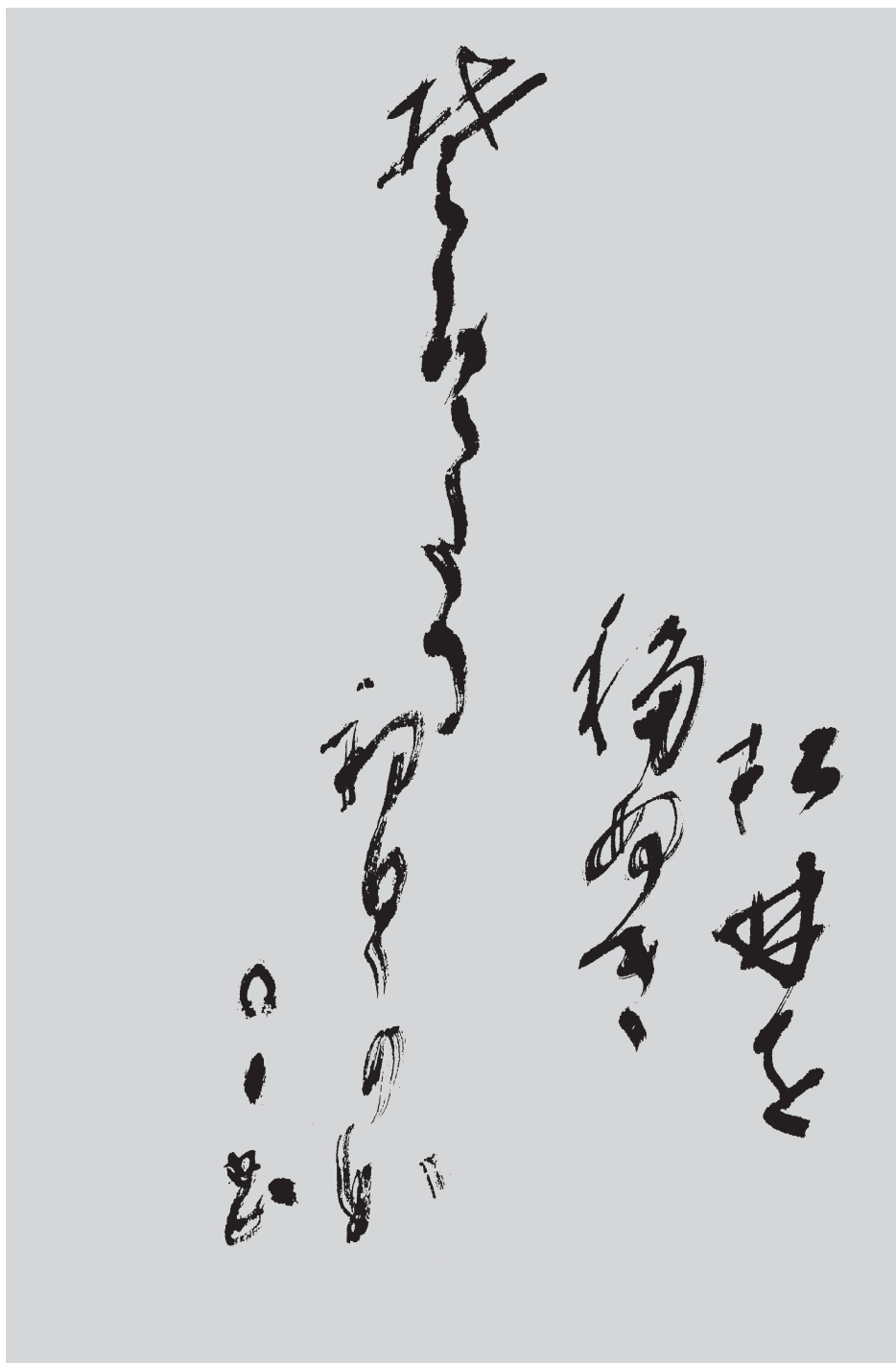


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

松林をいぬきそめたる初日かな (激浪)
 松林を移ぬき楚免多る初日可那



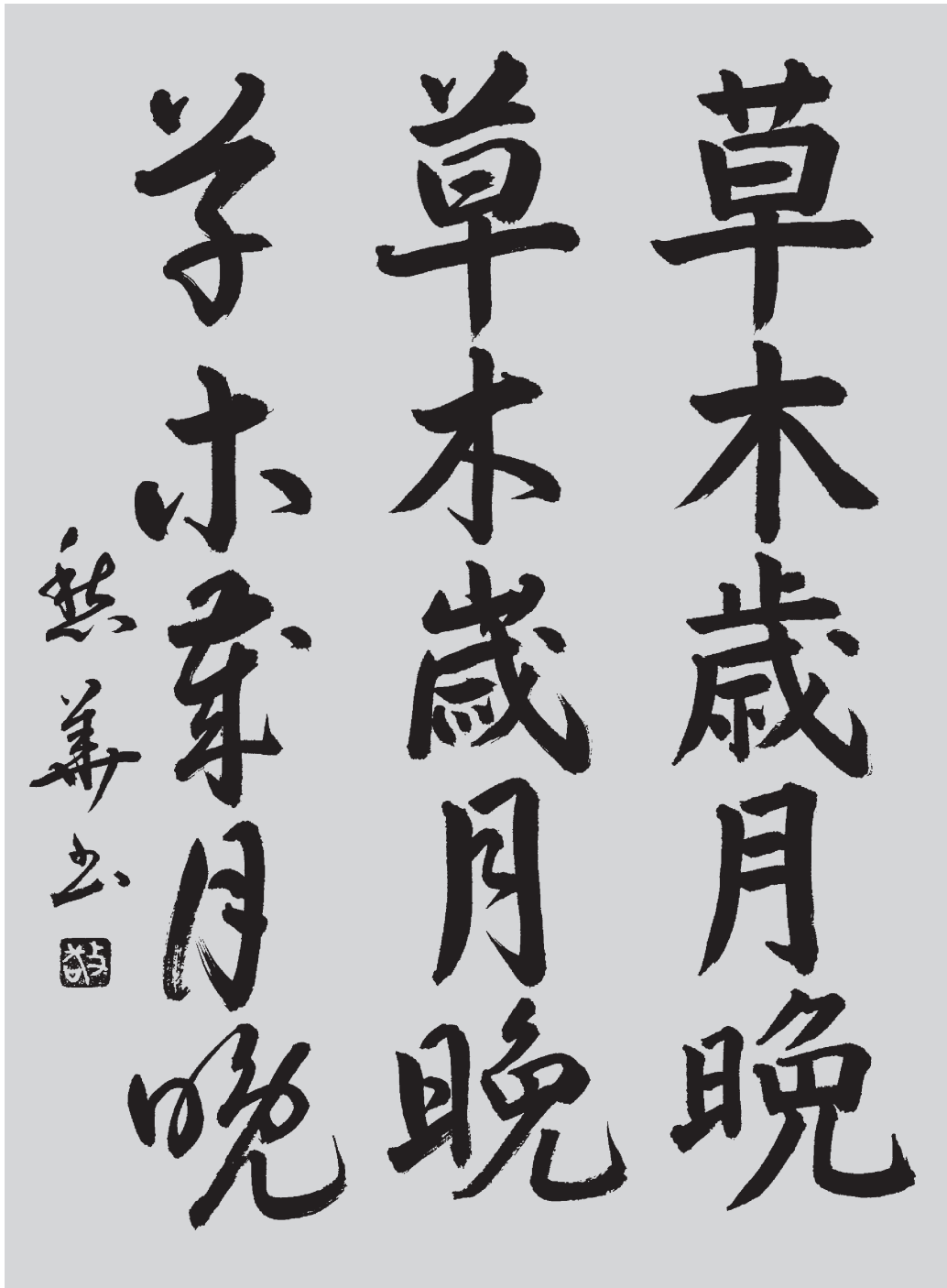
〈単体の習得力こそ〉
 初歩段階はもちろん、上位者にも「単体」の徹底習得には今一步を感じる。かなの単体は基本の第一。連綿以前の要諦である。単体練習(平かな・変体かな)用筆の基礎を覚え込んでほしい。これがかなの「芯」を形成する。今月の課題では、特に「移、楚、免、多、可、那」等である。まずは、字典を参考に、字源、形、筆意を的確に身につけてほしい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

石田 愁華 先生 書

草木歳月晚（杜甫）
草木 歳月晚れ

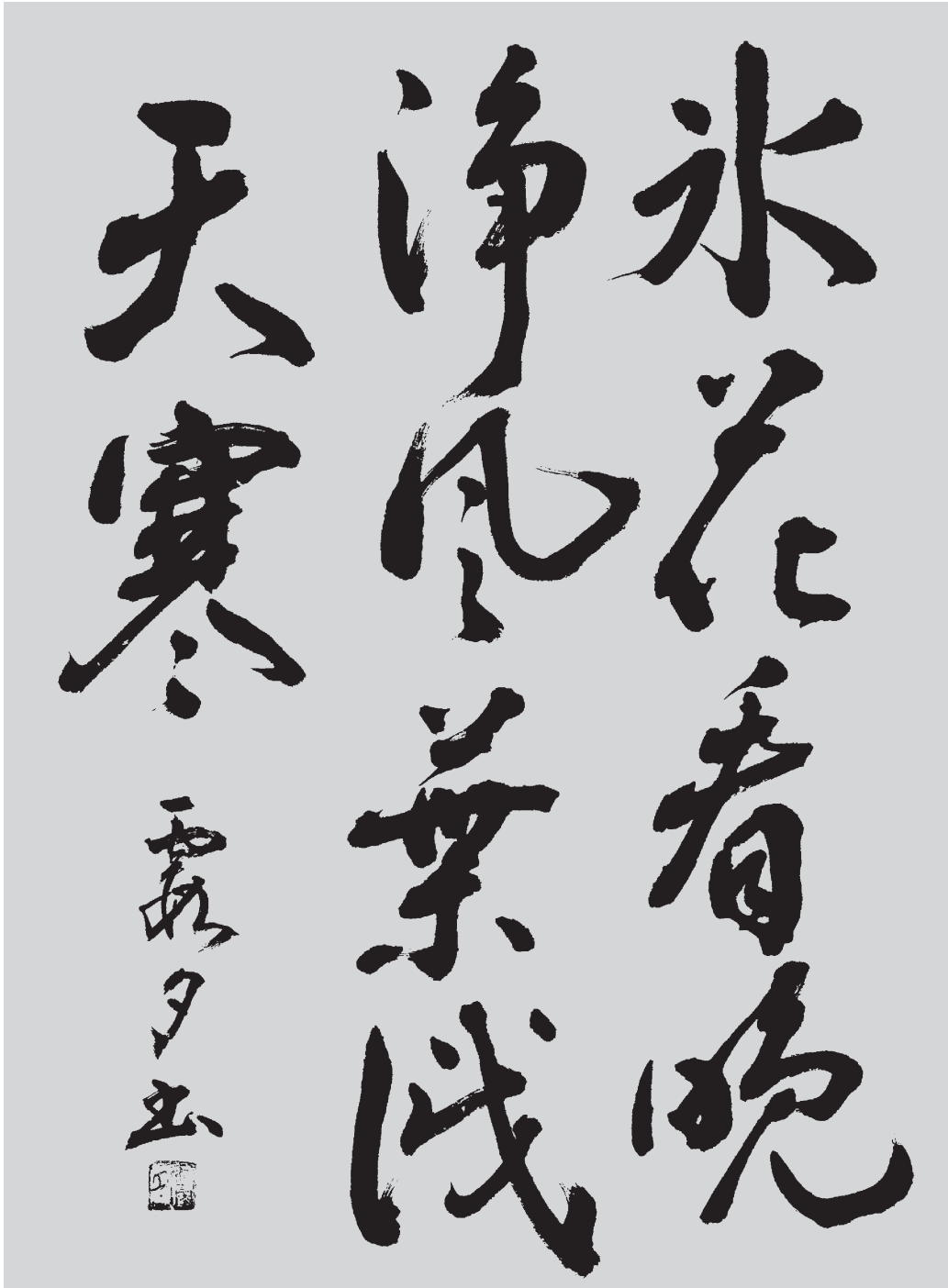


訳：草も木も枯れはてて、今年もおしつまってきた。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

外川霞夕先生書

氷花看晩淨 風葉識天寒（貞集）
ひょうかばん きよ ふうようてん さむ
氷花晩に浄きを看、風葉天の寒きを識る。



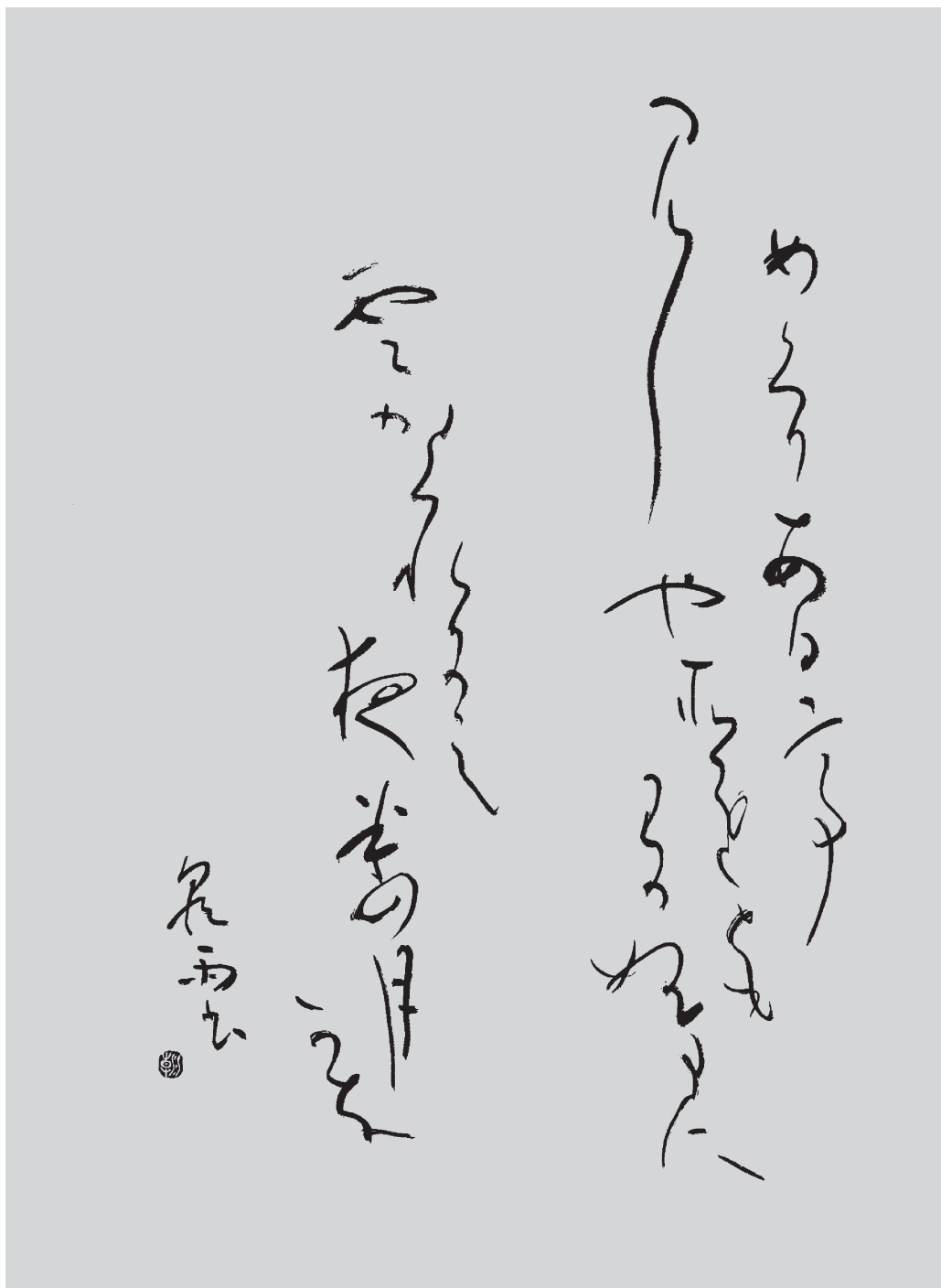
訳：美しく結ばれる氷は夕ぐれに一しお清く、風に散る木の葉に天の寒さが知られる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

槍
田
朝
雨
先
生
書

めぐりあひて見しやそれともわかぬまに雲隠れにし夜半の月かな（新古今和歌集 紫式部）
めぐりあひて見しやそれともわかぬまに雲が久れ尔之夜半の月可奈



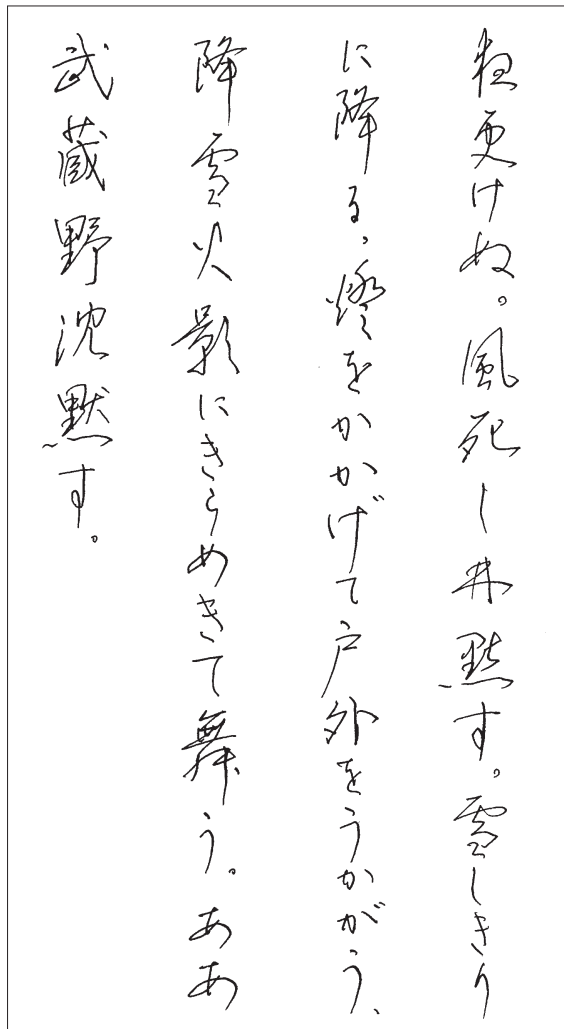
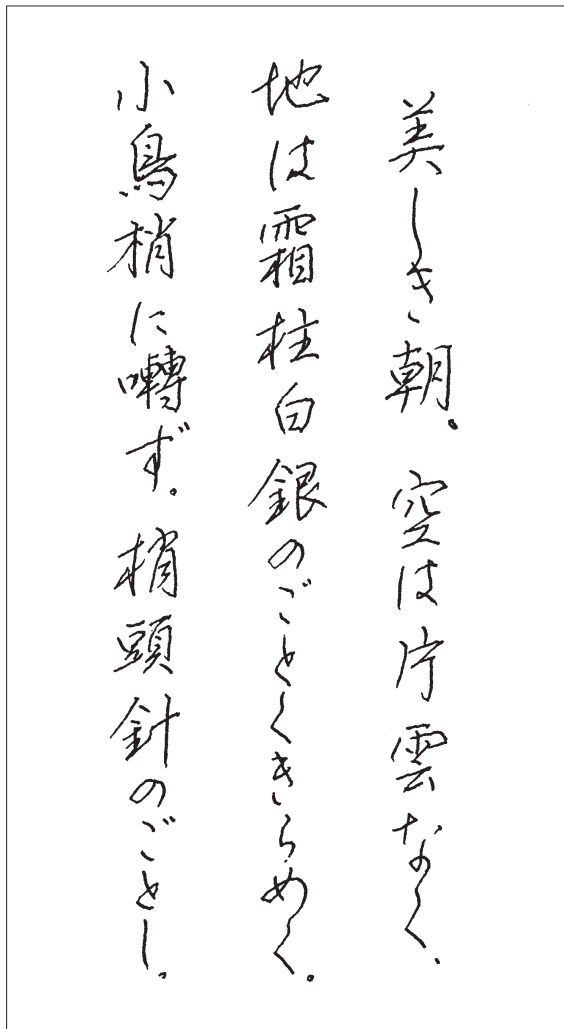
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

稲畑 暉穂 先生書

石原 春香 先生書

課題 2 (初段格以下)

課題 1 (初段以上)



課題 2 (初段格以下)
 美しく朝。空は片雲なく、地は霜柱
 白銀のごとくきらめく。小鳥梢に
 囀ず。梢頭針のごとし。
 (國木田独歩『武蔵野』)

課題 1 (初段以上)
 夜更けぬ。風死し林黙す。雪しきり
 に降る。燈をかがげて戶外をうかが
 う、降雪火影にきらめきて舞う。あ
 あ武蔵野沈黙す。
 (國木田独歩『武蔵野』)

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四六〇円
- (5)